

提案説明

【 市長提案説明 】

本日は、第4回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、年の瀬を迎え何かとお忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

今年は、「平成」から「令和」へと新しい時代の幕開けの年でありました。天皇皇后両陛下におかれましては、先月21日から23日にかけて、伊勢神宮へのご参拝のため、三重県をご訪問いただき、県民を挙げてご即位をお祝いすることができました。改めまして、天皇陛下のご即位をお祝い申し上げるとともに、令和の時代も、平和と繁栄が続くことを祈念いたしております。

さて、私が市長に就任いたしまして、早くも7年が経過しようとしております。

振り返りますと、就任以来7年間、次の時代を見据えた改革にしっかりと取り組んでまいりましたが、とりわけ、この一年は、市民の皆様が正に今、直面している課題解決に取り組んだ一年でありました。

新しい時代を迎えた今、市政を舵取りする立場として、市民の皆様のため、より一層努力していかねばならないと決意も新たにしているところであります。

ここに、本市の市政運営に当たり、市民の皆様、議員の皆様から貴重なご意見、温かいご支援をいただきましたことを心から御礼申し上げます。

さて、本市では、9月4日夜から5日の未明にかけて記録的な大雨になりました。幸い人命にかかわる被害は発生いたしませんでしたが、市内各地で、浸水や崩落等、深刻な被害が多数発生いたしました。翌日の朝、私自身も主だった被災箇所を視察して、被災の状況を確認いたしました。改めて自然災害の恐ろしさを痛感したところであり、現在、これら被害の一刻も早い復旧に向けて取り組んでおります。

また、今年10月に消費税率が8%から10%に引き上げられました。増税の影響が懸念されているところではありますが、民間の調査によると、駆け込みの買い物や増税後の買い控えは目立っておらず、消費者の冷静な対応が見て取れます。本市といたしましても、今後も景気の動向等を十分注視しながら、必要な対策を講じていきたいと考えております。

消費税増税に合わせ、10月から幼児教育・保育の無償化が開始いたしました。導入後は、対象施設やサービスも多岐に渡ることもあり、円滑に導入できるよう、事前に準備を進めてまいりました。現在のところ、特に目立った混乱もなく、スムーズな導入が進んでおります。一方で、保育所利用者が想定より多く、国の負担額が膨らんでいる状況にあることから、引き続き、国や県と情報共有を図ってまいります。

それでは、定例会の開会に当たり、提出いたしました諸案件の説明に先立ちまして、国内の情勢や市の情勢、主な事業概要について、申し述べたいと存じます。

まず、国内の情勢についてであります。

今年の秋は、台風や低気圧の影響により、東日本を中心に記録的な大雨や暴風、また数十カ所の川の決壊などに見舞われ、多くの方がお亡くなりになり、被災地では、現在も、多くの方が避難所生活を送られ、まちの中には災害ごみがあふれるなど、復旧の目途が立っていない地域も多くあります。今回の災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

本市でも、友好都市である福島県白河市から職員派遣要請を受け、台風19号による被害に係る復旧事業に従事するため、11月11日から来年1月31日まで、土木技師を派遣しております。今後も、被災地の復旧に向け、職員の派遣など、できる限りの支援をしていきたいと考えているところであります。一日も早い被災地の復旧を願ってやみません。

次に、防災対策についてであります。

本市では、伊勢湾台風から60年を迎えた今年を、「防災意識向上元年」と位置付け、防災力の強化や防災意識の向上に取り組んでまいりました。

全国各地で発生した被害の状況、そして、今後、本市でいつ発生してもおかしくない大規模災害を考えますと、今後、地域防災計画、水防計画を庁内一丸となってしっかりと実践し、総合計画で掲げる「命を守ることが最優先」に取り組んでいかなければならないと強く感じております。

9月26日には、城南河川防災ステーションにおいて「伊勢湾台風60周年のつどい」が開催されました。改めまして犠牲になられた方々に対し追悼の意を表しますとともに、災害の教訓と命の尊さを次世代に語り継いでいかなければならないとの思いを強くいたしているところであります。

近年、風水害が、急速に激甚化し、被害規模が拡大している中、市民一人ひとりに災害に対する危機意識を醸成し、日常的な備えを促す取組を進めながら、今後も引き続き、市としての防災減災対策に取り組んでまいります。

また、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震への対策として、長島地区へ整備を検討してきた「命山」を「津波避難誘導デッキ」という形で伊曾島地内に整備することとし、測量や地質調査等の準備作業に着手しました。

一方、国では、これら激甚化・頻発化する自然災害から国民の生命や財産を守ることを喫緊の課題とし、国土強靱化の取組を強化しています。この考え方は、甚大な被害発生と長期間にかけて復旧・復興を図る事後対策を避け、最悪の事態を念頭に置いて、平時から備えを行うことで、被害の軽減を図ることを目的としています。現在、本市でも国の計画を踏まえ、「国土強靱化地域計画」の策定に取り組んでいるところでございます。

次に、「小中一貫教育」についてであります。

来年度から、小学校において新しい学習指導要領の下、教育を行うことにあわせ、小・中学校の施設は現行のままで、9つの中学校ブロックを1つの単位として、全市的に小中一貫教育を導入いたします。小中学校が足並みを揃え、9年間の継続性をもった授業を提供することによって、子どもたち一人ひとりに合ったよりよい学びをつくり出し、これまで以上に、「主体的に学ぶ力」や「学んだことを人生や社会に生かそうとする力」を育てていくことが可能になると考えております。

また、現在、多度地区で進めております小中一貫校多機能複合化事業につきましては、多度中小学校及びその周辺地区を建設候補地といたしました。今後は、現地調査や用地買収等、順次整備に向けた作業を進めてまいります。

今後も子どもたちにとって、安全・安心な学校環境の下、生きる力を育み、豊かな未来を拓く子どもたちが育っていくよう取り組んでまいります。

次に、「桑名駅周辺の整備」についてであります。

現在、都市基盤及び交通結節点の整備の一環として、桑名駅周辺におきまして、桑名駅自由通路等整備事業、桑名駅西土地地区画整理事業、桑名駅周辺複合施設等整備事業を推進しております。

桑名駅自由通路等整備事業につきましては、平成28年度から着手した工事は順調に進捗しており、来年

度8月末頃に自由通路及び橋上駅舎の供用開始ができる運びとなりました。現在、屋根・外壁工事を実施しており、年明けからは内装工事にも着手し、いよいよ完成に向けた最終段階へと近づいてまいりました。

桑名駅西土地区画整理事業につきましては、桑名駅自由通路等整備事業と整合を図るため、現在、桑名駅西口までのアクセス道路及び駅前広場の整備を優先的に進めております。なお、本年10月には、部分的ではありますが、区域内を南北に走る幹線道路である蛸塚益生線の切り替え工事により道路が拡幅され、徐々に桑名駅西口までのアクセス強化が図られてきております。

桑名駅周辺複合施設等整備事業につきましては、駅東口及び西口の整備を進めていくため、現在、プロポーザル方式による公募により、民間事業者から創意工夫あふれる事業提案を募集しているところでございます。今後、提案書類の受付や審査を経て、今年度内に優先交渉権者を決定する予定となっております。

次に、「地域創造プロジェクト（案）」についてであります。

現在、各まちづくり拠点施設では、地域のまちづくりを進めるための拠点として、様々な目的で活用していただいております。

一例を挙げますと、「城南まちづくり拠点施設」におきまして、地域の方々の健康増進や集いの場となるべく、今年3月に卓球カフェを開設し、9月からは、桑名市総合医療センターの医師によるヘルスケア教室やインストラクターによる卓球教室を開催しております。参加者の方には、健康卓球を通じた運動に加え、健康に関する意識や知識の向上に取り組んでいただくことができました。

なお、他のまちづくり拠点施設でも、地域の方々の発想で、様々な主体的な活動が行われております。今後も、まちづくり拠点施設を中心として、本プロジェクトの更なる推進に向け取り組んでまいります。

次に、「桑名市総合計画後期基本計画」についてであります。

桑名市総合計画後期基本計画につきましては、昨年度から策定作業を進めてまいりました。議会内に設置していただきました総合計画後期基本計画検討協議会での意見聴取やパブリックコメントを実施し、さらには、桑名市総合計画審議会での審議・答申を踏まえ、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念を取り入れ、市民の安全・安心な暮らしや豊かな地域社会の実現と次世代を見据えたまちづくりを進める計画として、本定例会に議案として提案させていただきました。

「桑名市総合計画」が目指す本市の将来像であります、次世代へ続く快適な暮らしの中でゆるぎない魅力が本物として成長し続けるまちの実現に向け、未来にわたって本市の礎となるべき各事業を今後も着実に進めてまいります。

最後に、先般、市議会常任委員会からいただきました市の事務事業に対する評価につきましては、その結果をしっかりと受け止め、改善等の対応をしてまいりたいと考えております。引き続き、市民の皆様、議員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提案いたしました諸案件のうち、はじめに、人件費に係る補正予算及び条例の一部改正の議案につきまして、ご説明申し上げます。

まず、議案第133号「令和元年度桑名市一般会計補正予算（第8号）」ないし議案第138号「令和元年度桑名市下水道事業会計補正予算（第2号）」につきましては、人事院勧告の趣旨を踏まえ、職員の期末・勤勉手当の支給割合の変更、給料表の改正を行うことによるものと、合わせて、人事異動に伴う人件費を計上いたしました。

次に、議案第139号「桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」につきましては、人事院勧告の趣旨を踏まえ、国の指定職職員の期末・勤勉手当の支給割合に準じている議員の期末手当の支給割合の改正を行うものであります。

次に、議案第140号「桑名市職員給与条例の一部改正」につきましては、人事院勧告の趣旨を踏まえた職員の勤勉手当の支給割合、給料表及び住居手当の改正並びに会計年度任用職員制度の導入に伴う所要の改正を行うものであります。

次に、議案第141号「桑名市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例並びに桑名市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正」につきましては、人事院勧告の趣旨を踏まえた市長及び副市長の期末手当の支給割合並びに任期付職員の期末手当の支給割合及び給料表の改正等、所要の改正を行うものであります。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明及び報告は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。
(会議録が正式な発言記録となります。)